



株式  
会社 **中山製鋼所**

証券コード 5408

# 第117期 中間報告

(平成22年度)

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

## CONTENTS

---

株主の皆様へ ▶ P. 1

---

連結業績の推移 ▶ P. 4

---

連結財務諸表の概要 ▶ P. 5

---

単独財務諸表の概要 ▶ P. 6

---

トピックス ▶ P. 7

---

会社の概要 ▶ P. 9

---

# 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び  
申し上げます。

平素は、格別のご厚情を賜り、心から厚くお礼申し  
あげます。

さて、当社の平成22年度上半期（平成22年4月1日  
～平成22年9月30日）が終了いたしましたので、事業  
の概況につきまして、ご報告申し上げます。

平成22年11月

代表取締役社長

藤井博務



## 事業の概況

### 構造改革を実行

当上半期におけるわが国経済は、新興国経済の成長や政府による景気対策などにより緩やかな回復基調で推移しましたが、急激な円高の進行や中国の景気減速懸念などにより不透明感が強まってまいりました。

鉄鋼業界におきましては、自動車・産業機械などの製造業向け需要は緩やかに回復しましたが、当社グループの主要販売先である建築分野における需要は引き続き低水準で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、需要に見合った生産・販売体制のなかで低操業下での最適生産を図り、品質向上や短納期を推進して顧客満足度の向上を追求するとともに、あらゆるコストの削減に努めてまいりました。

## 〔鉄鋼事業〕

グループのコア事業である鉄鋼事業におきましては、昨年10月28日に公表しました構造改革を計画どおり進捗させ、固定費削減は所期の目標を上回りました。転炉工場（NSR）、コークス工場および自家発電設備などのエネルギー関連設備の休止は、計画より1カ月以上前倒しし本年5月に完了いたしました。なお、コークス工場B炉団の累積窯出回数は、23,931回／窯（1968年操業開始：42年4カ月）で日本一を記録いたしました。また、構造改革および減産体制に見合う要員とするための要員配置の効率化においても、計画どおり200名規模の人員を削減しました。

販売数量は、極めて低水準であった前年同期に比べて増加したことにより、売上高は786億49百万円に回復いたしました。損益面では、販売数量の増加や前年同期の損益悪化要因であった在庫影響が解消したことに加え、構造改革の効果を十分に発揮したことなどにより、前年同期に比べて大幅に改善いたしました。主原料価格が販売価格の上昇を上回って値上がりしたことにより、それらの効果が相殺され、経常利益は1億30百万円にとどまりました。

## 〔エンジニアリング事業・化学事業他〕

エンジニアリング事業につきましては、前年同期に比べて減収となりましたが、採算の改善などにより増益となりました。また、化学事業につきましては、農薬販売量が増加したことなどにより、増収増益となりました。

以上の結果、当上半期の当社連結業績につきましては、売上高は前年同期に比べ168億42百万円増加の883億62百万円、営業利益は105億77百万円増加の12億52百万円、経常利益は103億13百万円増加の1億93百万円となりました。また、構造改革に伴う特別退職金や事業構造改善費用を特別損失に計上しました結果、第2四半期純損益は171億54百万円利益増の17億70百万円の損失となりました。

## 〔中間配当〕

当期の中間配当につきましては、当期純損益が前期に引き続き赤字となり、単独の利益剰余金が欠損となっていることから、誠に遺憾でございますが、前期の期末配当に引き続き見送ることとさせていただきます。

株主の皆様のご期待に沿うことができず、無配によりご迷惑をお掛けしておりますことを大変申し訳なく深くお詫び申し上げます。事情をご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

## 今後の見通し

### 経営基盤の強化

今後のわが国経済の見通しにつきましては、世界経済の下振れ懸念、急激な円高と株安の進行や景気対策効果の一巡による需要の反動減など、先行き不透明感が一段と強まっております。

鉄鋼業界におきましては、回復基調にあった製造業向けにおいて、エコカー補助金の打ち切りや急激な円高による生産の海外シフトなどに伴う需要減が懸念され、低迷が続く土木・建築分野の動向と併せて、先行きは厳しさを増していくものと思われまます。

このような厳しい情勢のもと、当社グループは、安定した収益を確保できる経営基盤を構築するため、引き続き徹底したコスト削減に全力で取り組むとともに、鉄源保有の自由性を生かした短工期、グループネットワークを生かした短納期を一層実現することで顧客満足度の向上を図ってまいります。

鉄鋼事業におきましては、本年6月に導入しました熱延工場のエッジヒーター設備の稼働により、より高品質の製品が生産できます。これにより、熱延鋼板の商品力の強化、高級鋼・難製造材の生産拡充および商品開発力の向上が期待できます。

アモルファス事業におきましては、本年7月、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の次世代戦略技術実用化開発助成事業における助成先に選出されました。今後は、地球温暖化対策（CO<sub>2</sub>削減）の基礎材料として、電気自動車の燃料電池部材等への適用に取り組んでまいります。

当社グループにおきましては、引き続き国内外の需要に見合ったフレキシブルな営業・生産体制を堅持しつつ、各社との連携により全国拠点を最大限に活用し、地域・お客様に密着した品質・納期面でのきめ細かな対応を図り、顧客満足度の向上とコスト削減努力により、収益の改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、以上の事情をご賢察のうえ、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

# 連結業績の推移

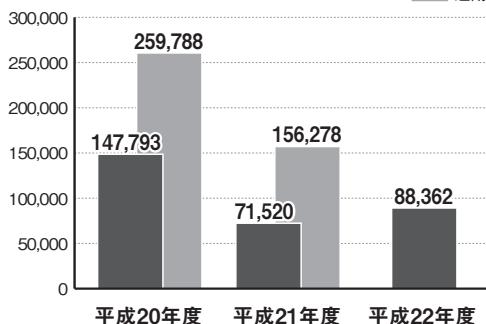
(平成22年9月30日現在)

## ■ 財産および損益の状況

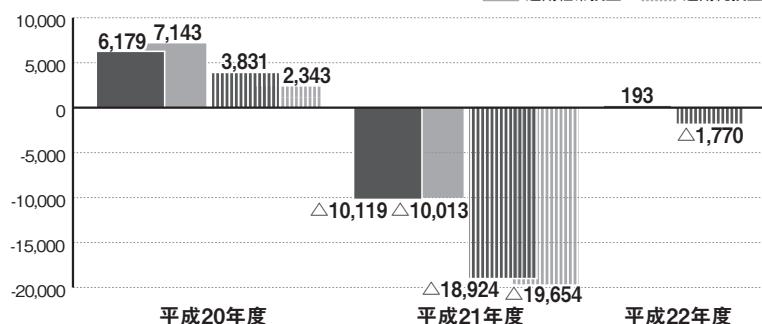
区分	年度・期	平成20年度		平成21年度		平成22年度
		上期	通期	上期	通期	上期
売上高	(百万円)	147,793	259,788	71,520	156,278	88,362
経常損益	(百万円)	6,179	7,143	△10,119	△10,013	193
当期(中間)純損益	(百万円)	3,831	2,343	△18,924	△19,654	△1,770
1株当たり当期(中間)純損益	(円)	29.75	18.20	△147.01	△152.68	△13.76
総資産	(百万円)	252,720	239,550	222,264	228,100	222,053
純資産	(百万円)	86,069	84,890	65,632	66,042	63,820
有利子負債	(百万円)	88,501	93,829	92,609	93,649	98,163

(注) △は損失を示しております。

### ■ 売上高(百万円)

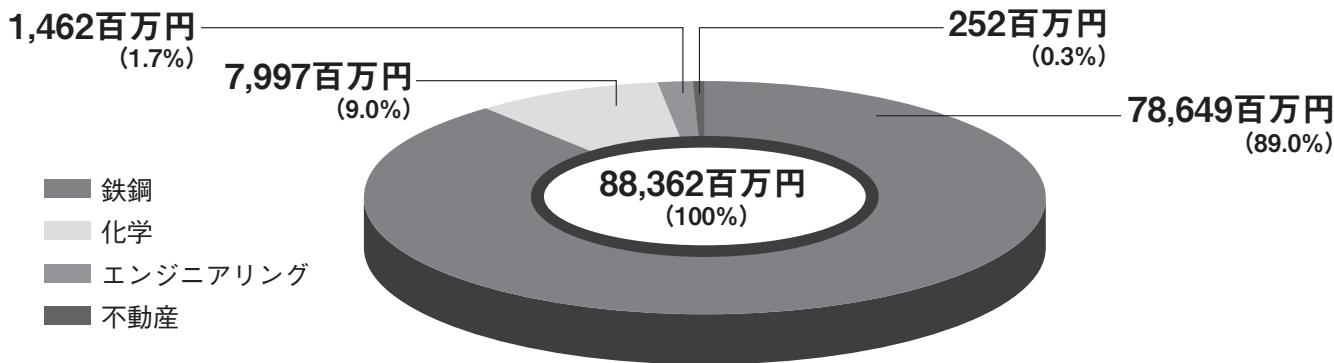


### ■ 経常損益と当期純損益(百万円)



## ■ セグメント別連結売上高

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)



# 連結財務諸表の概要

## ■ 四半期連結貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>86,783</b>	<b>流動負債</b>	<b>62,024</b>
現金及び預金	16,902	支払手形及び買掛金	22,023
受取手形及び売掛金	34,778	短期借入金	32,197
有価証券	30	未払金	4,290
商品及び製品	14,432	未払費用	1,495
仕掛品	3,606	未払法人税等	392
原材料及び貯蔵品	14,435	賞与引当金	868
繰延税金資産	426	事業構造改善引当金	157
その他	2,729	その他	599
貸倒引当金	△557	<b>固定負債</b>	<b>96,208</b>
<b>固定資産</b>	<b>135,269</b>	長期借入金	65,966
<b>有形固定資産</b>	<b>125,395</b>	繰延税金負債	8,334
建物及び構築物(純額)	17,241	再評価に係る繰延税金負債	11,525
機械及び装置(純額)	37,297	退職給付引当金	3,246
土地	68,728	役員退職慰勞引当金	110
その他(純額)	2,128	環境対策引当金	217
<b>無形固定資産</b>	<b>1,034</b>	特別修繕引当金	1
投資その他の資産	8,839	事業構造改善引当金	2,263
投資有価証券	7,204	負のれん	3,560
繰延税金資産	31	その他	981
その他	1,787	<b>負債合計</b>	<b>158,232</b>
貸倒引当金	△184	(純資産の部)	
<b>資産合計</b>	<b>222,053</b>	<b>株主資本</b>	<b>27,380</b>
		資本金	15,538
		資本剰余金	10,339
		利益剰余金	2,099
		自己株式	△597
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>17,513</b>
		その他有価証券評価差額金	1,031
		土地再評価差額金	16,481
		<b>少数株主持分</b>	<b>18,926</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>63,820</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>222,053</b>

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,671
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,700
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の減少額	△454
現金及び現金同等物の期首残高	17,366
会社分割による現金及び現金同等物の減少額	△10
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,902

(注)記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## ■ 四半期連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

科目	金額
売上高	88,362
売上原価	79,662
<b>売上総利益</b>	<b>8,699</b>
販売費及び一般管理費	7,447
販売費	3,541
一般管理費	3,906
<b>営業利益</b>	<b>1,252</b>
営業外収益	573
受取利息	11
受取配当金	87
負のれん償却額	164
不動産賃貸料	141
その他	169
営業外費用	1,631
支払利息	714
その他	916
<b>経常利益</b>	<b>193</b>
特別利益	239
固定資産受贈益	129
固定資産売却益	109
特別損失	1,405
特別退職金	580
事業構造改善費用	505
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	178
固定資産除却損	140
<b>税金等調整前四半期純損失</b>	<b>972</b>
法人税、住民税及び事業税	346
法人税等調整額	△11
<b>少数株主損益調整前四半期純損失</b>	<b>1,307</b>
少数株主利益	463
<b>四半期純損失</b>	<b>1,770</b>

# 単独財務諸表の概要

## ■ 四半期貸借対照表 (平成22年9月30日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	<b>65,248</b>	<b>流動負債</b>	<b>52,115</b>
現金及び預金	13,940	支払手形	688
受取手形	177	買掛金	10,800
売掛金	26,168	短期借入金	33,534
有価証券	30	未払金	2,613
製品	4,243	未払費用	1,306
半製品	3,918	未払法人税等	33
副産物	23	賞与引当金	489
原材料	8,877	事業構造改善引当金	157
仕掛品	3,603	設備支払手形	216
貯蔵品	3,642	設備未払金	1,892
その他	672	その他の	382
貸倒引当金	△48	<b>固定負債</b>	<b>78,295</b>
<b>固定資産</b>	<b>96,654</b>	長期借入金	61,703
有形固定資産	89,559	繰延税金負債	495
建物	10,755	再評価に係る繰延税金負債	11,370
構築物	3,152	退職給付引当金	1,735
機械及び装置	33,175	環境対策引当金	209
車両及び運搬具	28	事業構造改善引当金	2,263
工具器具及び備品	425	資産除去債務	409
土地	41,012	その他	106
リース資産	52	<b>負債合計</b>	<b>130,410</b>
建設仮勘定	958	(純資産の部)	
<b>無形固定資産</b>	<b>841</b>	<b>株主資本</b>	<b>14,251</b>
ソフトウェア	161	資本金	15,538
その他	680	資本剰余金	9,608
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,253</b>	資本準備金	5,853
投資有価証券	4,789	その他資本剰余金	3,754
関係会社株式	987	利益剰余金	△10,297
その他	489	その他利益剰余金	△10,297
貸倒引当金	△13	繰越利益剰余金	△10,297
<b>資産合計</b>	<b>161,902</b>	自己株式	△597
		<b>評価・換算差額等</b>	<b>17,240</b>
		その他有価証券評価差額金	981
		土地再評価差額金	16,259
		<b>純資産合計</b>	<b>31,491</b>
		<b>負債純資産合計</b>	<b>161,902</b>

## ■ 四半期損益計算書 (平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

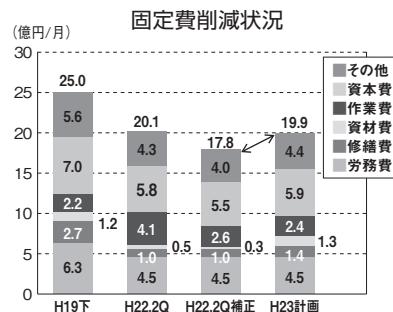
(単位:百万円)

科目	金額	金額
売上高		61,507
売上原価		57,578
売上総利益		3,928
販売費及び一般管理費		4,001
営業損失		72
営業外収益		
受取利息及び配当金	104	
その他	108	212
営業外費用		
支払利息	664	
その他	728	1,392
経常損失		1,252
特別利益		
固定資産売却益	162	
固定資産受贈益	129	292
特別損失		
特別退職金	575	
事業構造改善費用	505	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	178	
固定資産除却損	73	1,333
税引前四半期純損失		2,293
法人税、住民税及び事業税	4	
法人税等調整額	8	13
四半期純損失		2,306

(注) 記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 構造改革の成果 (固定費削減状況)

このたびの構造改革は、改革前の固定費月額25.7億円を、改革後（平成23年度）には月額19.9億円で削減する計画（年間70億円削減）でした。平成22年度上期の固定費は、月額20.1億円で、構造改革条件に補正すると月額17.8億円となり大幅に計画を前倒して達成（年間95億円削減）いたしました。



## アモルファス事業がNEDO助成先に出選

当社のアモルファス事業が、本年7月、NEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の次世代戦略技術実用化開発助成事業における助成先に出選されました。

内容は、「超急冷遷移制御噴射技術」を使い、大面積で高性能な非晶質／ナノ組織金属薄板を安価に量産する製造技術を開発するものです。今後は、地球温暖化対策（CO<sub>2</sub>削減）の基礎材料として、電気自動車の燃料電池部材等への適用に取り組んでまいります。



アモルファス溶解ガンでの火花噴射

## 社団法人日本鉄鋼連盟主催 第72回自主管理活動発表大会 「感動賞」3件受賞

本年9月、社団法人日本鉄鋼連盟主催の第72回自主管理活動発表大会が横浜市にて開催されました。加盟各社48件の事例発表の中、当社からは3件の発表を行い、すべてが「感動賞」を受賞いたしました。当社は、平成18年第68回自主管理活動発表大会以来、5年間連続で感動賞を受賞しています。

今後も自主管理活動を通じて、現場力の向上を目指してまいります。



## 無災害継続日数 新記録更新中

当社は、平成21年の安全成績において、休業災害・不休災害ともにゼロで「完全無災害」を達成いたしました。現在も無災害記録を継続しており、従来の無災害記録639日を更新中（平成22年11月16日現在737日）です。

直協社員が一丸となり、更なる無災害の継続に取り組んでまいります。

## 当社の鋼製魚礁が関西テレビにて放映

本年9月、関西テレビ放送の番組「s-コンセプト・オサカナと食卓の科学」にて、当社が施工した魚礁が放映されました。

当社は鋼材を利用した鋼製魚礁を開発しており、海域・対象生物・漁法などの多様なニーズに応じた設計・施工を手がけております。

すでに、全国各地の海域でその効果を発揮しており、鋼製魚礁のトップメーカーとして、「つくり育てる漁業」の発展に大きく貢献しております。



超高層魚礁

## 清掃活動で地域社会へ貢献

当社は、良き企業市民としての責任を果たすために、平成4年から社屋前の公道をはじめ、地元の大正通りを定期的に自主清掃しております。

今後も活動を続け、積極的に社会貢献活動に努めてまいります。



# 会社の概要

(平成22年9月30日現在)

## 主要な事業内容

事業	主要品目		
鉄鋼事業	鋼材	鋼板	熱延鋼帯、厚板、中板、縞板、鍍金鋼帯
		条鋼	線材、バーインコイル、棒鋼、軽量C形鋼、パイプ、線材二次製品、高力ボルト
	鋼片、副産物等		
エンジニアリング事業	建設(建築総合工事)、海洋(鋼製魚礁・増殖礁)、ロール、バルブ、産業機械		
不動産事業	不動産の賃貸・売買		
化学事業	化学工業薬品		

会社設立 大正12年(1923年)12月22日

資本金 15,538,509,066円

## 従業員の状況

連結 1,591名

(当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む)

単独 777名

(当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む)

## 主な事業所

[本社・船町工場]

〒551-8551 大阪市大正区船町一丁目1番66号

電話/06-6555-3111(総合案内) FAX/06-6555-3170

[東京営業所]

〒100-0006 東京都千代田区有楽町一丁目9番4号 蚕糸会館

電話/03-5220-7330(代表) FAX/03-5220-7333

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人

## 連結子会社(8社)

中山三星建材株式会社、中山通商株式会社、三星商事株式会社

三星海運株式会社、南海化学株式会社、中山興産株式会社

三泉シヤール株式会社、富士アミドケミカル株式会社

## 役員

代表取締役社長

常務取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

取締役

監査役(常勤)

監査役

監査役

藤井博務  
三木隆司  
箱守一昭  
渡邊秀幸  
西澤茂樹  
吉村敏敏  
山本有男  
松岡雅啓  
若杉昌夫  
笹部隆夫  
福西惟次  
榎本比呂志

## 株式の状況

### 1.発行可能株式総数

300,000,000株

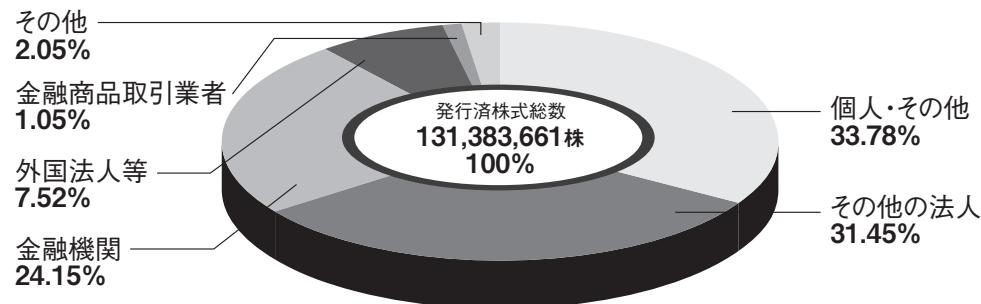
### 2.発行済株式の総数

131,383,661株

### 3.株主数

12,320名

### 4.所有者別株式分布状況



## 大株主

株主名	持株数	持株比率
新日本製鐵株式会社	12,875 千株	10.00 %
財団法人中山報恩会	10,683	8.29
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,261	5.64
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,510	4.28
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,966	3.85
株式会社サミット経済研究所	3,200	2.48
シービーエヌワイデイエフエイインターナショナルキャップバリューポートフォリオ	3,072	2.38
中山持株共栄会	2,260	1.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	2,093	1.62

(注) 上記のほか当社は自己株式(2,656,228株)を保有しており、持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領 株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京、大阪
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.nakayama-steel.co.jp/">http://www.nakayama-steel.co.jp/</a> ただし、電子公告によることができない 事故その他のやむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 単元未満株式をご所有の株主様へ 単元未満株式(1~999株)の買取・買増制度のご案内

当社では、市場でお取引できない単元未満株式(1~999株)の買取制度および買増制度を採用しております。手数料は無料ですので、ぜひご活用ください。

※買取制度：ご所有の単元未満株式(1~999株)を当社が買い取らせていただく制度です。

買増制度：単元未満株式をご所有の場合に、あわせて1,000株にするのに必要な株式を当社から市場価格で買い増しすることができる制度です。

## 特別口座で株式をご所有の株主様へ

2009年1月5日から実施された株券の電子化に際して、株式会社証券保管振替機構(株券を証券会社を通じて「ほふり」に預託)をご利用されなかった当社株式につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社に開設された「特別口座」にその内容が記録されました。

特別口座においては、単元未満株式の買取をご利用の場合を除き、株式を売買することができませんので、特別口座で株式をご所有の株主様におかれましては、ご所有の当社株式を証券会社のお取引口座へお振替えされることをおすすめいたします。

## 【お問い合わせ先】

＜証券会社等の口座に株式をご所有の株主様＞  
口座を開設されている証券会社等

＜特別口座で株式をご所有の株主様＞  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



この冊子は環境に配慮した再生紙および大豆インキを使用しています。



<http://www.nakayama-steel.co.jp/>

**NAKAYAMA  
STEEL WORKS, LTD.**